

CLT特別アドバイザー・CLT広報大使の委嘱について

○ CLT特別アドバイザー

関係省庁等に対して活用促進に向けた助言をいただくため、新国立競技場の設計に携わられた建築家の隈研吾氏に、関係省庁連絡会議議長である野上浩太郎内閣官房副長官より、平成29年5月17日付けで委嘱状を交付。



○ CLT広報大使

各種イベント等における普及啓発に協力いただくため、農林水産省「みどりの広報大使」も務めておられる竹川智世氏たけかわ ちせ（2018ミス日本みどりの女神）に、関係省庁連絡会議議長である野上浩太郎内閣官房副長官より、平成30年3月15日付けで委嘱状を交付。



(参考)

平成29年は、野中葵氏（2017ミス日本みどりの女神）に委嘱。

CLT広報大使委嘱式の概要(平成30年3月15日、内閣総理大臣官邸にて)

委嘱式は、内閣官房審議官による趣旨説明の後、野上浩太郎内閣官房副長官から委嘱状を交付し、副長官及び和泉内閣総理大臣補佐官を前に、CLT広報大使の竹川智世さんからコメントをいただきました。

趣旨説明

CLTとは、クロス・ラミネイティド・ティンバー、日本語で直交集成板と呼ばれる、比較的新しい木質建材です。その活用促進は、新しい木材需要を創出し、林業及び木材産業の成長産業化による地方の持続的な産業育成と雇用確保につながり、地方創生の実現に大いに寄与することが期待されます。

その利用範囲は公共建築物、商業施設等と幅広く、積極的な活用に向け、関係省庁が連携し政府一体となった取組を進めています。その一環として、昨年より各種イベントにおける普及啓発に御協力いただく「CLT広報大使」を委嘱しています。

委嘱状の交付



たけかわ ちせ

にっぽん

CLT広報大使:竹川 智世さん(2018ミス日本みどりの女神)のコメント

本日は、「CLT広報大使」に任命していただき、誠にありがとうございます。

私は「みどりの女神」に選ばれてから2か月ほどの間に、秋田県、山梨県、また地元和歌山県などさまざまな林業の現場に訪れる機会をいただいております。木を育ててきた方々や、木の特性を活かした素敵な品物を作られている方々から、さまざまなお話を伺いました。木を育て上げるには50年、100年がかかり、伐った後も次に繋げるために新たに植えて育てるために頑張っている人たちがいることも知りました。その方々の話を聞くたびに、いまこそ木を使う時代なのだと思います。

新しいCLTなどの木質建材と技術の発展により、高層の建物を木材で建てるようになっており、木の可能性が広がっていることの重要性を知らせることが大事だと思います。

私は、「みどりの女神」、「CLT広報大使」として木を使う大切さを発信し、より多くの商業施設や住宅で多く木が使われ、温かみ溢れる、そんな街並みが増えたらいいなと思います。

まだ選ばれて2か月ほどしか経っていませんが、木を育てている方や、加工する方々など様々な方々にお会いし、もっと木を使いたいと思うこともできました。

広報大使に任命していただいた期待に応えられるように、一層努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



CLT広報大使委嘱式の概要(平成29年5月17日、内閣総理大臣官邸にて)

委嘱式は、内閣官房審議官による趣旨説明の後、野上浩太郎内閣官房副長官から委嘱状を交付し、副長官及び和泉内閣総理大臣補佐官を前に、CLT広報大使の野中葵さんからコメントをいただきました。

趣旨説明

CLTとは、クロス・ラミネイテッド・ティンバー、日本語で直交集成板と呼ばれる、比較的新しい木質建材です。その活用促進は、新しい木材需要を創出し、林業及び木材産業の成長産業化による地方の持続的な産業育成と雇用確保につながり、地方創生の実現に大いに寄与することが期待されます。

その利用範囲は公共建築物、商業施設等と幅広く、積極的な活用に向け、関係省庁が連携し政府一体となった取組を進めています。その一環として、各種イベントにおける普及啓発に御協力いただく「CLT広報大使」を委嘱することといたしました。

委嘱状の交付



にっぽん

CLT広報大使:野中葵さん(2017ミス日本みどりの女神)のコメント

本日は、「CLT広報大使」に任命していただき、光栄に思います。ありがとうございます。私は「みどりの女神」として任命していただいてから、様々なイベントや現場へ訪問することを通じて、日本の森林の現状や、林業の方々からお話を伺う機会に恵まれました。森林大国である日本の木々は、積極的に使う時代にきています。そして国産の木材としてたくさん使ってもらうために、多くの方々が一生涯懸命に働いてくださっています。

高層ビルやマンションなど、これまで木材が使われてこなかった建物にも、CLTによって木材を積極的に利用することができます。CLTがこうした新しい需要を生み出し、国産材の期待の星としてもっともっと注目されることで、私たちの暮らしの中に、木のある暮らしが広がっていくんだと思います。そして、CLTを積極的に使えば、国内の森林の手入れや間伐が進み、豊かな森林と地方の方々が増えると思います。働く場所が増えれば、山村の活性化にもつながり、地方から日本が盛り上げることにつながります。ですので、CLTによって地方から日本が輝いていくと期待しております。

私も微力ながら「広報大使」として、CLTの魅力や価値を広げていき、地方や都市がもっと元気になっていくように努めていきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

